

透明

June - July 2024

こんな本



読んでみて

No.107

目次

透明 1

Book designの世界vol.37 10

ちょこちょこ日記 #47 12

透明

とうめい【透明】

すきとおること。

くもりなく明らかなこと。

広辞苑 第七版
新村出 編
岩波書店

美しくて

涼し気で

どこか不思議

そんな「透明」に心ひかれます



『世界一美しい透明スイーツレシピ』

著者／tomei 透明愛好家

出版社／KADOKAWA

出版年／2020年

請求記号／596.65||To 51

「透明」を食べる。ゼリーケーキや琥珀糖など、透明なスイーツのレシピ集です。不思議な美しさの透明スイーツを眺めるだけでも、気持ちが洗われるような一冊です。



『旅する喫茶の おうちRecipe』

著者／tsunekawa, Naoki Tamaki

出版社／KADOKAWA

出版年／2023年

請求記号／596||Ts 77

東京・高円寺にある喫茶店「旅する喫茶」のレシピを紹介する一冊。澄み渡る青空をイメージした美しい「青空のクリームソーダ」、作ってみませんか。



『おとなのゼリー』

著者／高石紀子

出版社／家の光協会

出版年／2023年

請求記号／596.65||Ta 35

暑い日にさっぱり味わえる涼し気なゼリーがたくさん紹介されています。粉ゼラチン、アガー、粉寒天を使い分けて、さまざまな食感の「透明」を楽しんでみてください。



『はじめてのガラスペン』

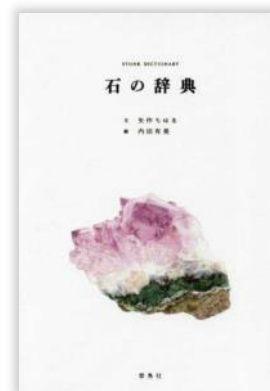
著 者／武田健

出版社／実務教育出版

出版年／2021年

請求記号／589.73||Ta 59

「ガラスペン」って使ったことはありますか？はじめての方にもわかりやすく楽しみ方を紹介する本書。美しい透明のペンにお好みのインクを付けて文字を書くと、自分の文字がいつもと一味違って見えて、素敵な体験ができるはずです。



『石の辞典』

著 者／矢作ちはる(著)

内田有美(イラスト)

出版社／雷鳥社

出版年／2019年

請求記号／459||Y 16

鉱物の硬さを表す「モース硬度(引っ掻いた時の傷つきにくさ)」の順に魅力的な石が紹介されています。石のイラストが繊細で美しく、様々な色や形に魅了される一冊です。



『香水図鑑』

出版社／マイナビ出版

出版年／2019年

請求記号／576.7||Ma 31

世界の93のブランドから厳選した293種類の香水を紹介する一冊。美しい香水瓶を眺め、解説を読んでいると、香りのイメージが豊かに広がっていきます。



『ガラスの海を渡る舟』

著 者／寺地はるな
 出版社／PHP研究所
 出版年／2021年
 請求記号／913.6||Te 42

祖父の「ソノガラス工房」を引き継ぐことになった、兄の道と妹の羽衣子。正反対の二人がぶつかり合いながらも、共に前へ進んでいく物語です。読むと心が透き通るような作品です。



『透明な螺旋』

著 者／東野圭吾
 出版社／文藝春秋
 出版年／2021年
 請求記号／913.6||H 55

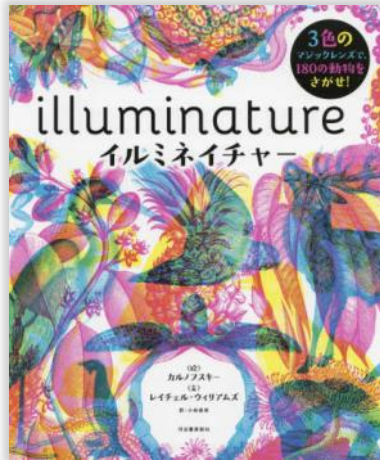
ガリレオシリーズ第10弾。房総沖で男性の銃殺遺体が見つかった。失踪した恋人の行方をたどると、関係者として天才物理学者の名が浮上する…。『透明な螺旋』というタイトル、あなたはどうか解釈しますか。



『硝子の塔の殺人』

著 者／知念実希人
 出版社／実業之日本社
 出版年／2021年
 請求記号／913.6||C 46

山奥にある円錐状の硝子の塔を舞台にした長編ミステリ作品。ミステリ好きの大富豪に招かれたゲストたちに起こる事件の数々。そして名探偵から読者への挑戦状。あなたは謎を解き明かせるでしょうか。



『イルミネイチャー』

著 者／カルノフスキー(絵)

レイチェル・ウィリアムズ(文)

訳 者／小林美幸

出版社／河出書房新社

出版年／2016年

請求記号／480||C 19

付属の赤・緑・青の3色マジックレンズで本をのぞくと、驚きの世界が広がります。世界各地の大自然の中で、野生動物を探す冒険をしているような気分が味わえる一冊です。

PICK UP! 電子書籍

三重短生のみなさんが利用できる電子書籍から2タイトルをご紹介します。電子書籍は、図書館ホームページのマイページへログインすると使えます。詳しくは図書館ホームページの電子書籍ページをご確認ください。



『ときめくクラゲ図鑑』

著 者／峯水亮

出版社／山と溪谷社

出版年／2018年

美しくユニークなクラゲの魅力が満載です。クラゲの漂う姿を眺めているだけで癒されます。美しく不思議なクラゲの姿にきっと夢中になってしまうはずです。



『水族館めぐり シーズン2』

編 者／ジー・ビー

出版社／G.B.

出版年／2023年

日本全国の水族館で暮らす動物たちの魅力的な写真がたくさん紹介されています。かわいらしさや迫力あふれる写真から動物への愛が伝わってきます。

Book design

の世界

vol.37

三木 俊一 さん

(文京図案室)

本を選ぶ時、表紙や本のデザインに惹かれて選ぶことがあります。本を開くとそこに書いてある「装丁」という言葉と名前。

本のデザインをする方を装丁家やブックデザイナーと言います。この連載では本のデザインや装丁から、本を楽しみたいと思います。

第37回目は、三木俊一さんです。

今回は、文京図案室・三木俊一さんの装丁をご紹介します。



デザイン：三木俊一(文京図案室)

はじめに『おうちデザート ゼリー・プリン・ババロア・ムース』(福岡直子著／朝日新聞出版／2021年／596.65||H 98)をご紹介します。ゼラチンや寒天を使って手軽に作れる100のレシピが紹介された一冊です。デザートの写真の間にタイトルの文字が踊るように配置されていて、デザートのぷるんと楽しい食感が伝わってくるようなデザインです。



デザイン：三木俊一(文京図案室)
カバーイラスト：岡野賢介

『学芸員しか知らない美術館が楽しくなる話』(ちいさな美術館の学芸員著／産業編集センター／2024年／706.9||C 43) は、現役学芸員が美術館の舞台裏や美術鑑賞の楽しみ方を伝える一冊です。カバーにはポップな印象のイラストが使われ、流れるようなタイトルの配置が印象的です。デザインからも、学芸員という仕事の奥深さや美術館の色々な楽しみ方が伝わってくるようです。



デザイン：三木俊一(文京図案室)

『なんで信長はお城を建てたの?』(畑中英二著／にしざかひろみ画／新泉社／2022年／521.82||H 42) は、中学生のホタカがお城巡りの旅をするストーリーを通して、お城の魅力が発見できる本です。繊細なタッチの絵が使われていて、お城の謎に一步一步近づいていくようなワクワクする気持ちを感じます。

『感情的な日本語』(加賀野井秀一著／教育評論社／2024年／810.4||Ka 16) は、日本語論の専門家による、日本語の歴史を紐解き、言葉と思考の関係性を探る一冊です。装画と文字の組み合わせが個性的で目をひきます。言葉の世界にいざなわれるデザインです。



装幀：三木俊一(文京図案室)
装画：森優



装丁：三木俊一(文京図案室)

最後にご紹介する『寝るまえ5分の外国語語学書書評集』(黒田龍之助著／白水社／2016年／807||Ku 72) は、言語学者がさまざまな言語の語学書について語る書評集です。深緑色の中に灯るランプがデザインされています。ゆっくりと導かれるような、静けさと温かさを感じる装丁です。

三木俊一さんが手がけられた装丁は、とても丁寧で誠実な印象を受けました。文京図案室のホームページには「100年後、手に取った人にも誇れる仕事を」という言葉が書かれています。その言葉の通り、それぞれの本の奥深い魅力が伝わる装丁ばかりでした。

Book design の世界 次回もお楽しみに！

参考：文京図案室ホームページ <https://www.bunkyo-zuan-shitsu.com/>

ちょこちょこ日記 #47「環境月間」

6月は環境月間です。三重短期大学附属図書館では、環境月間に合わせて、図書館ボランティア部のみなさんの選書による環境に関するコーナー展示を行っています。ちょこちょこ日記でも、環境に関する本を3冊ご紹介します。

●『気温が1度上がると、どうなるの？ 気候変動のしくみ』

(クリスティーナ・シャルマッハー・シュライバー文／
シュテファニー・マリアン絵／松永美穂訳／西村書店
／2021年／451.85||Sc 1)



気候変動のしくみや影響について豊富なイラストでわかりやすく解説する一冊です。

●『気候変動に立ちむかう子どもたち』

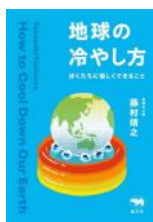
(アクシャート・ラーティ編／吉森葉訳／太田出版／2021年
／519||R 17)



世界41か国60人の作文集。11歳から30歳の若い世代の気候変動に対する思いが伝わってきます。

●『地球の冷やし方 ぼくたちに愉しくできること』

(藤村靖之著／晶文社／2023年／519||F 63)



地球温暖化への対処法として、ユニークな77のアイデアを提案する一冊です。

ぜひ手に取ってみてください。

次号 No.108 は、2024年8月発行予定です。

こんな本読んでみて No.107

2024年6月1日 発行

編集・発行 三重短期大学附属図書館

〒514-0112 三重県津市一身田中野157

<http://www2.library.tsu-cc.ac.jp/>